



VIA HOLDINGS INC.

VIA GROUP
ANNUAL REPORT 2009

株式会社 **ヴィア・ホールディングス**
第73期 事業報告書
2008年4月1日-2009年3月31日

お客様への「豊かさ」の提供
それが私たちヴィア・グループの願いです。



2005年4月にホールディングス体制へと移行し、効率的かつ効果的な経営を推し進めてまいりました。

新・中期経営計画においてヴィア・グループは、外食サービス事業をメインのドメインと位置づけ、経営資源を集中し再生と成長に特化した経営戦略を推進してまいります。

また印刷流通事業については、事業の再構築を進め、再生を果たした上での安定的な収益確保を目指した経営戦略をとってまいります。

新たな価値創造へ向けて、
失敗を恐れない挑戦と革新に邁進します。

当社は今年で創業75周年を迎えます。創業当初は印刷事業からスタートし、6年前から外食サービス事業に参入しました。4年前の2005年4月には、純粋持株会社へと移行しグループ経営体制を確立いたしました。加えて商号を「株式会社ヴィア・ホールディングス」とし、外食サービス事業と印刷流通事業をコアドメインとした成長戦略のもと、積極的な出店とM&A戦略により順調に業績の拡大を進めてまいりました。昨今においては、経済の先行き不透明感と生活防衛意識が高まるなか、当社はライフスタイル創造企業を標榜し、より品質の高いサービスを提供し続けることでお客様にご満足いただけるよう努めてまいります。

私どもの経営理念は「心が響き合う価値の創造」です。お客様をはじめ、お取引先様、従業員、社会や地域、そして株主の皆様といった多くの方々に心の通い合った新たな価値の創造を通じて貢献をしていきたい。そんな思いを経営理念に込めています。新たな価値の創造には、誰もがやってこなかったことに着眼し、失敗を恐れずに挑戦をし続けることが必要であり、革新をし続ける姿勢が大切であると考えています。革新と創造は現状を否定することから始まり、過去の延長線上に未来に向けた成長はありません。

激変と激動の時代、ヴィア・グループは丸一となって持続的な成長と企業価値の向上に取り組み、多くの皆様に支持される企業として発展していくことを目指してまいります。

なにとぞ一層のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

3つの基本戦略を着実に遂行し、
中期経営目標の実現と成長を目指します。

私たちを取り巻く環境は常に変化を繰り返しています。その変化を見極め、「すばやく」かつ「ダイナミック」に対応していくこと。急激な変化にも恐れず、ためらわず、果敢にチャレンジを繰り返す。これが私たちヴィア・グループの身上です。そして、何より重要なことはとりうる戦略が正しいかどうか。私たちの商売の原点は、お客様から見た新しいお値打ちづくりにあります。この視点に立った戦略の正しさの証明は、お客様が増え続けているか否かです。私たちは、それが実現できるまで決してあきらめず自らを磨き続け、成果を追求し続けてまいります。

ヴィア・グループは中期経営目標として、2012年3月期には売上高515億円、経常利益31億円にチャレンジします。この目標を達成するための基本戦略は「既存事業のバリューアップによる基礎収益力の向上」・「本部機能の集中化による価値競争力の向上」・「内部統制の推進によるマネジメント力の向上」の3つです。特に既存事業のバリューアップでは、ヴィア・グループのノウハウを結集した再生チーム結成。相対的に収益力の低い業態や店舗を集中的にかつ抜本的に改革いたします。さらにマーチャндаイジングシステムにおいては、永遠のテーマである安全と安心を確保し、より良いものをより安く全世界から調達を行ないます。いつまでも付加価値の高い商品を、私たちの店舗ネットワークを通じて広くお客様に提供できる体制を構築してまいります。

今後も社会と地域に貢献し、継続的な成長を推し進めてまいりますので、皆様方の一層のご指導とお引立てを賜りますようお願い申し上げます。



Chairman and Representative Director
Norio Yokokawa

代表取締役会長
横川紀夫



President and Representative Director
Norihiko Ohba

代表取締役社長
大場典彦

ヴィア・グループ47の業態が奏でるシンフォニー

1 TOPICS 2008-2009

「扇屋コーポレーション」が
2008年度の飲食業ランキング(日経MJ)、
経常利益額部門50位に

2009年3月期において扇屋コーポレーション
はグループトップの売上と利益を実現。主力業の
焼き鳥居酒屋「備長扇屋」は、店舗オペレーション
のレベルアップを徹底的に取り組みました。
その結果、売上を確保するとともにFLコスト
(食材原価と人件費の合計)を適正にコントロール
する力を身につけ、収益力が大幅に強まりました。
今後もグループのリーディングカンパニーとして
邁進してまいります。



2 TOPICS 2008-2009

「NBK」が
グループ業績に大きく貢献

2008年3月期にグループ入りしたNBK。知名度
の高い「北の家族」業態を筆頭にエンターテインメント
テーマレストランなど12もの業態を擁し、
ヴィア・グループ全体の業績拡大に貢献しました。
都市型立地と大型複合店といった特性を活かし、
これからのヴィア・グループ飛躍のための成長エンジン
のひとつとして、さらなる活躍が期待されます。



3 TOPICS 2008-2009

「一源」が
体質改善を完了し、
収益効率が格段に向上

2009年3月期の一源は、大規模
改修と次世代の業態開発に着手する
一方で、店舗マネジメントの改革を実施。
不採算店の整理が進んだこともあり、
企業体質は大幅に改善しました。一源
の強みは、埼玉県を中心とした駅前
の好立地と地域のお客様に支えられた
歴史にあります。この強みを活かし、
ヴィア・グループを牽引する新たな力
としての役割をこれからも発揮して
まいります。



4 TOPICS 2008-2009

「紅とん」が
過去最高の売上高と
利益を実現

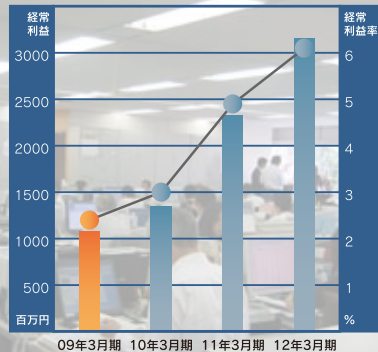
飛躍的な成長を見せたのは新鮮
和豚炭焼専門店「日本橋紅とん」を
率いる紅とん。2008年3月期に業態
のフォーマット固めを完了し、2009年
3月期は8店舗を出店して27店舗体制
となりました。首都圏を中心に店舗展開
をしている「日本橋紅とん」は、まさに
東京のサラリーマンの「活力再生の場」
となっています。今後も引き続き、新規
出店による店舗ネットワークの拡大
をねらう紅とんは、ヴィア・グループ
のホープとして成長を続けます。



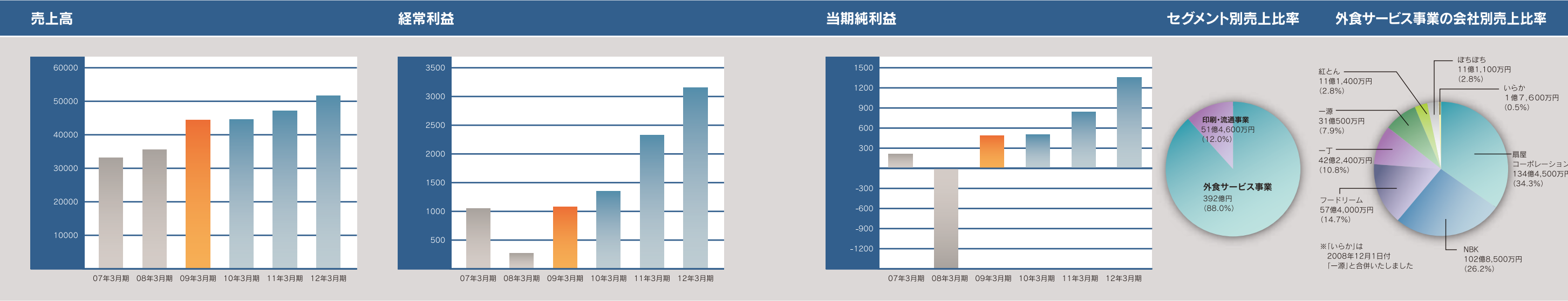
5 TOPICS 2008-2009

ヴィア・マネジメントサービス
の立ち上げ

ヴィア・マネジメントサービス設立の
ねらいは、「仕組みづくり」と「人づくり」
による本部サービスの品質向上と
トータルコストダウン。
各事業会社の財務・経理・総務・人事・
情報システム部門を集中し、業務改善
と組織横断的なノウハウの共有を
進めることで、業務の高度化と組織
のコンパクト化を図ります。「本部機能
は店舗のためにあり」をより確実に
実現していくため、2009年3月期
よりスタートを切りました。



2009年3月期連結決算は、
売上高**443億4,600万円**(前期比24.5%増)、
経常利益**10億7,800万円**(前期比299.4%増)となりました。
2010年3月期は、売上高**445億円**、
経常利益**13億5,000万円**を目指します。



業績の状況

ヴィア・グループの外食サービス事業においては、「既存業態の強化と拡大」に向け、メニューの改定サイクルの短縮化をはじめ、宴会需要の獲得や店舗モニターによる店舗のサービスレベルの向上等、既存業態のブラッシュアップを進めてまいりました。また、「新規取得事業のバリューアップ」については、店舗オペレーションの再構築とグループメリットを活かしたコストダウンを中心に収益構造の改善を図ってまいりました。その結果、既存業態および新規取得事業ともに収益体質が良化し、外食サービス事業の収益は向上いたしました。

また、印刷流通事業においては、事業再編に取り組んでまいりましたが、景気感の急激な悪化が進むなか、収益の大幅な低下を避けることができませんでした。こうしたなか、印刷流通事業の早期の収益回復と抜本的再生に向けて、固定資産除却損、営業資産の

譲渡損および売掛債権の貸倒引当金等を計上し、財務上の収益体質強化を図りました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は前期比24.5%増の44,346百万円、営業利益は前期比168.0%増の1,102百万円、経常利益は前期比299.4%増の1,078百万円、当期純利益は前期比1,953百万円増の488百万円となりました。

次期の見通し

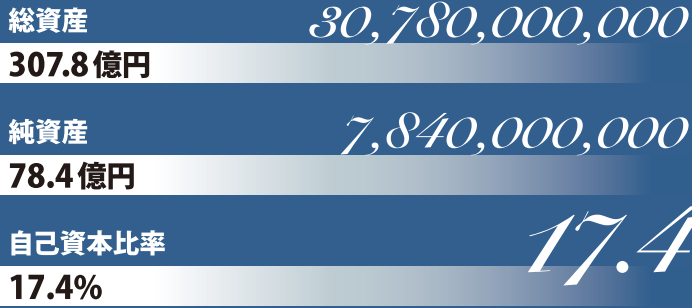
今後のわが国経済は、急速な景気回復の兆しはなく、景気低迷の長期化が想定されるなか、当社の主要顧客である消費者の消費意欲は減退傾向が続くことが予測されます。

ヴィア・グループは、引き続き外食サービス事業へ経営資源を集中させ、スクラップアンドビルドを実施し、不採算店舗の撲滅をねらいます。財務改善の視点から、負債の圧縮といった財務の健全性の実現、さらに各社の事務サービス部門を統合し、業務改善によるコスト低減を進めてまいります。

印刷流通事業については、収益構造の再構築はほぼ完了していることから、事業再生を強力に推し進めてまいります。

以上の施策を実施することで、次期の連結業績見通しについては、売上高44,500百万円、営業利益1,600百万円、経常利益1,350百万円、当期純利益500百万円を見込んでいます。

連結財政状態



確実な利益成長による安定した更なる成長を目指して

私たちヴィア・グループはこの中期経営計画の3年間で「ヴィア・グループの新たな飛躍に向けた足場固めと成長期間」とし、次の3つの基本戦略を遂行し、確実な利益成長による中長期的に安定した更なる成長を実現してまいります。

1. 既存事業のバリューアップによる基礎収益力の向上

外食サービス事業の既存業態については、立地特性に応じたコンセプトの再設計を行うとともに、顧客の価値観にマッチした商品政策の導入を継続して進めて ます。また店舗のスクラップアンドビルドを実施し、不採算店舗再生の専門集団である(株)再生プロジェクト(2009年4月に100%子会社として設立)に経営資源の傾斜配分を実施するとともに、グループ内の再生ノウハウを結集することで、不採算店舗を撲滅してまいります。あわせて、店舗モニター制度を通じ、顧客のニーズをタイムリーにつかむことで、より顧客満足の実現に向けたサービスの

実現と商品のレベルアップを図ってまいります。店舗運営のマネジメントについては、従業員一人ひとりに対する教育の充実と技術の研鑽を通じ、従業員満足(ES)を一層向上させるとともに、労働生産性の向上を進めてまいります。出店戦略については、各業態別に出店エリアと投資回収基準を設定し、3年以内での回収を目標としたより効果的かつ効率的な出店を慎重に行っていくことを方針とします。また、印刷流通業態については、原点に立ち返り自社本来の強みを活かせる業務を堅実に遂行し、事業再生を強力に推し進めてまいります。

2. 本部機能の集中化による価値競争力の向上

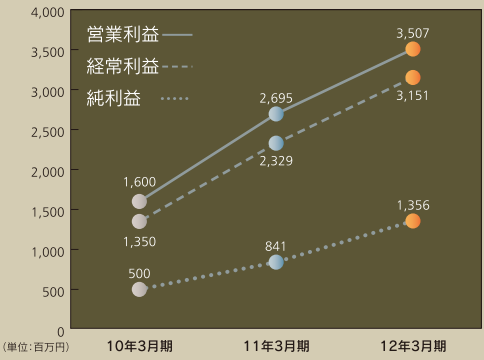
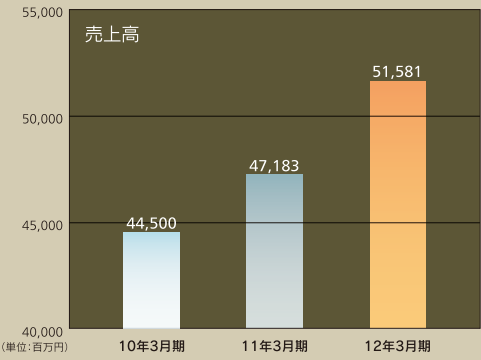
業務処理の高度化と組織体制のコンパクト化を企図し、当社および各子会社の事務サービス部門を統合することで、業務の抜本的な改善によるコスト低減を進めてまいります。情報システムについても、営業支援機能を強化し、店舗の収益改善を実現するための基幹システムの検討や、グループでの資金効率の向上を企図したキャッシュマネジメントシステムの導入等、本部機能の効率化と高度化を図ってまいります。また、商品・購買機能についても、商品開発は各社の自由度を残してメニューの同質化を防ぐとともに、

共同購買プロジェクトや食品衛生委員会といったグループ横断の機能を推進し、食の安全・安心を確保しながら、グループメリットを生かした調達を進めることでコストの低減を進めてまいります。



数値目標

中期経営計画では、3年後の2012年3月期に売上高515億円(当期比116.3%)、営業利益35億円(当期比318.2%)、経常利益31億円(当期比292.3%)、当期純利益13億円(当期比277.9%)の達成を目指します。



3. 内部統制の推進によるマネジメント力の向上

偽りのない情報の公開や安心・安全の確保、環境保護への配慮など、確固とした企業倫理を確立し、社会の一員としての責務を果たしてまいります。また、内部統制の仕組みづくりは、コーポレートガバナンス体制の強化であるとともに、マネジメント力そのものの向上と位置づけ、そのための内部統制の強化に積極的に取り組み、オープンで公正な企業カルチャーの構築を目指してまいります。





「技術を磨く」、「豊かさを実現」、「コンセプトを磨き続ける」ことで、
ヴィア・グループは日々成長します。



株式会社 **ヴィア・ホールディングス**
所在地 東京都文京区関口1-43-5 新目白ビル4F
TEL.03-5155-6801
設立 1948年2月26日
代表者 代表取締役会長 横川紀夫
代表取締役社長 大場典彦



株式会社 **扇屋コーポレーション**
所在地 東京都文京区関口1-43-5 新目白ビル4F
TEL.03-5155-6926
設立 2001年7月2日
代表者 代表取締役社長 大場典彦
事業内容 焼き鳥居酒屋「偏長扇屋」、「本陣串や」の展開



株式会社 **NBK**
所在地 東京都文京区関口1-43-5 新目白ビル4F
TEL.03-5155-6813
設立 2006年1月10日
代表者 代表取締役会長 三甲野隆優
代表取締役社長 工藤保夫
事業内容 和食居酒屋「北の家族」、
エンターテインメントレストランの展開



株式会社 **フードリーム**
所在地 東京都文京区関口1-43-5 新目白ビル4F
TEL.03-5155-6832
設立 2001年7月1日
代表者 代表取締役社長 廣瀬雅孝
事業内容 SC内を中心とした外食店舗の展開
(オープン亭・ほちほち・双龍亭 他)



株式会社 **一丁**
所在地 東京都文京区関口1-43-5 新目白ビル4F
TEL.03-5155-6812
設立 1978年12月14日
代表者 代表取締役社長 阪本保廣
事業内容 刺身居酒屋「うおや一丁」の展開



株式会社 **一源**
所在地 東京都文京区関口1-43-5 新目白ビル4F
TEL.03-5155-3239
設立 1970年6月1日
代表者 代表取締役社長 佐伯浩一
事業内容 総合型居酒屋「食彩屋 一源」の展開



株式会社 **紅とん**
所在地 東京都文京区関口1-43-5 新目白ビル4F
TEL.03-5155-2291
設立 2003年10月22日
代表者 代表取締役社長 白山良則
事業内容 新鮮和豚炭焼専門店「日本橋紅とん」の展開



株式会社 **暁印刷**
所在地 東京都文京区関口1-44-4
TEL.03-3268-3155
設立 2005年4月1日
代表者 代表取締役社長 三甲野隆優
事業内容 書籍・雑誌印刷、商業印刷、
デジタル事業(電子書籍等)、
物販流通資材卸売



株式会社 **再生プロジェクト**
所在地 東京都文京区関口1-43-5 新目白ビル4F
TEL.03-5155-6835
設立 2009年4月1日
代表者 代表取締役社長 尾曲辰朗
事業内容 低収益店舗・業態の再生

傘下8社による新・中期経営計画のスタート

- 私たちヴィア・グループは、
- ◆既存事業のバリューアップによる基礎収益力の向上
 - ◆本部機能の集中化による価値競争力の向上
 - ◆内部統制の推進によるマネジメント力の向上
- を基本戦略に、より高い目標へチャレンジしてまいります。

OHGIYA CORPORATION INC.

株式会社 扇屋コーポレーション

代表取締役社長 大場典彦



お客様が求める“これからのお値打ち”づくりへの挑戦

株式会社扇屋コーポレーションは、2009年3月31日現在、焼き鳥居酒屋「備長扇屋」を主力として全国に351店舗（直営店269店、フランチャイズ82店）を展開し、2008年度の飲食業ランキング（日経MJ）では、経常利益額部門で50位の業績をあげることができました。

こうしたなか、私たちは客数増による売上拡大を目指し、お客様が求める“これからのお値打ち”づくりに挑戦してまいります。主力商品である焼き鳥串を中心に、今まで以上の安さ、品質、安全性を追求し続け、競合他社に対して圧倒的優位性を確保したいと考えています。

また、私たちは働く人達を物心両面において豊かにする“地域一番の繁盛店”づくりに挑戦してまいります。繁盛店であるからこそ働く人々を豊かにすることができ、働く人々が豊かであってこそ繁盛店であり続けることができると考えています。

2010年3月期を“1000店舗に向けての基盤づくり”の年と位置づけ、「最小の変化で最大の効果」をキーワードに、商品戦略、人材育成、マネジメント等さまざまな変革に果敢に挑んでまいります。



NBK INC.

NBK



株式会社 NBK

代表取締役社長 工藤保夫

お客様に感動満足を提供し続ける集団になろう！

株式会社NBKは、関東圏をはじめ宮城県、新潟県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県の主要な大都市に、和食居酒屋「北の家族」をはじめ、中世ヨーロッパの牢屋敷をテーマにしたエンターテインメントテーマレストラン「ザ・ロックアップ」等、現在12業態の飲食店66店舗を展開しています。

主力の「北の家族」においては、個室を中心に家族的な居心地感の良さを充実させ、特に料理にこだわり、北海道の食材を使用したお値打ちのあるメニューを開発し、クオリティ

の高い商品とサービスを提供してまいります。

また、「エンターテインメントテーマレストラン」においては、探究心と好奇心をくすぐるような“ワクワク・ドキドキ感”のあるパフォーマンスや、感動と驚きのあるメニューを常に追求し、ファンタスティックな世界を繰り広げてまいります。

今後はさらに各業態に磨きをかけるとともに、新業態開発も積極的に推進してまいります。

FOODREAM INC.

Foodream



株式会社 フードリーム

代表取締役社長 廣瀬雅孝

マルチブランドサプライヤーとしての成長と発展に向けて

株式会社フードリームは、2009年4月より新たに、大阪下町の味 お好み焼「ほちほち」を業容に迎え、20業態・100店舗を超える陣容へと生まれ変わりました。

ショッピングセンターや駅ビル・百貨店など商業施設への出店を軸としてまいりましたが、「ほちほち」の加入によって、商業施設以外の駅前ビルイン型や郊外フリースタANDING型の店舗展開を実現できるようになり、これまでの事業構造をより柔軟で強固なものへと転換することが可能となりました。

2009年3月期より取り組んでいる業態収益構造の改革をさらに推し進めるため、2010年

3月期は新たに「強い新フォーマットの開発とマーケットに合わせた業態転換の実現」に向け、強いオペレーション力をベースに、各業態ごとの売物に磨きをかけてまいります。

さらに「ピープルビジネス」と評される外産業にとって、その根幹である「人財」の育成にも積極的に力を入れ、従業員のモチベーションを高める政策を投入し、全社一丸「情熱集団」となって新生フードリームの組織風土づくりに取り組んでまいります。

マルチブランドサプライヤーとしてのさらなる発展に、大いにご期待ください。

ICCHO INC.



ICCHO INC



株式会社 一丁

代表取締役社長 阪本保廣

原点回帰により、一丁としての業態特性をさらに強固なものにする

株式会社一丁は、鮮度とボリューム・お値打ち価格をコンセプトにした刺身居酒屋「うおや一丁」を、直営19店、フランチャイズ5店展開しています。

2009年3月期は鮮度にこだわり、鮮魚は市場に出向いて、その時期・その日にいいものを仕入れてその日に売る、商売の原点に帰り競合店との差別化を図ってまいりました。

2010年3月期は、「基本に振り返り価値を高め、初心に振り返り満足度を高める」をテーマに、料理の基本に立ち返り、一丁らしい商品力

を高めていき、また気付きのあるサービスでお客様の満足度を高めてまいります。またマネジメントの構造改革、常に挑戦する人財集団を築いていき、既存店の収益性をブラッシュアップして、さらなる成長の基盤づくりをしてまいります。

今後の株式会社一丁の挑戦にご期待ください。

BENITON INC.

株式会社 紅とん

代表取締役社長 白山良則



さらなる成長と発展を

株式会社紅とんは2009年3月31日現在、新鮮和豚炭焼専門店「日本橋 紅とん」を直営18店、フランチャイズ7店、炎のホルモン焼「ソウル大門ホルモン」を直営2店展開しています。

2009年3月期は“急速展開への足固めの年”と位置づけ、既存店のブラッシュアップに取組ました。また、紅とん新店5店の出店も果たしました。その結果、売上高は前年比150%。利益も予算を大幅に上回ることが出来ました。

2010年3月期は、「私のお客様を迎えられる店舗をつくろう」をキーワードに、商品とサービスのブラッシュアップに取り組み、お客様の満足度をさらに高めてまいります。また、慎重かつ大胆に出店も増やし、規模の拡大に取り組んでまいります。

今後の株式会社紅とんの成長にご期待ください。

ICHIGEN INC.



一源



株式会社 一源

代表取締役社長 佐伯浩一

ワイガヤを励行し、強いチームを築き、お客様を増やし続けよう！

株式会社一源は、総合型居酒屋「食彩厨房 いちげん」「食彩屋 一源」を主力業態に、2009年3月31日現在、埼玉・千葉・東京を中心に29店舗を展開しています。

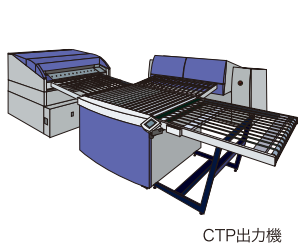
2009年3月期は既存店舗の収益改善を第一として、店舗のコストコントロール力アップに注力し、黒字転換することに成功いたしました。また、「一源」から「いちげん」へのリニューアルや産地直送をテーマとした「産直市場 魚々菜(ととな)」、韓国旅行気分が味わえるテーマ型居酒屋「韓国ハッピーツアーズ」など次世代の業態開発にも着手することができました。

2010年3月期はヴィア・グループの中核と

なるべく、過去最高の収益を目標としています。それを達成するためのスローガンとして「ワイガヤを励行し、強いチームを築き、お客様を増やし続けよう！」を掲げます。“ワイガヤ”とは相手のことを真剣に考え、常に対話し、意思疎通を図る人財教育(共育)の手段です。それにより、店舗が目標をひとつにする強いチームへと変貌を遂げ、最大限の顧客満足が得られるようになって考えています。また、商品政策として「立地別のメニュー開発」に着手し、より地域のお客様に支持していただけるお店作りに励んでまいります。

2010年3月期は飛躍の年と位置づけてまいります。

AKATSUKI PRINTING INC.



CTP出力機

株式会社 暁印刷

代表取締役社長 三甲野隆優

リノベーション ～刷新と創造～

2010年3月期の株式会社暁印刷は、原点に立ち返り、自社本来の強みを活かせる業務を堅実に遂行していくことを事業の基軸として取り組んでまいります。

お取引先様により良い製品をお届けして満足いただくために、新たな情熱を傾けてまいります。最新印刷機の新規導入や、高品質保持のための一貫生産・管理の強化など、さらなるプロ集団として生まれ変わる決意を強くしてまいります。

他方、印刷業界のデジタル化も予測を超えるスピードで進行しています。この対応として早期から着手してきたデジタル関連



事業は、今や当社の収益を支える大きな柱のひとつとして成長をしてまいりました。このデジタル事業の高い能力を応用して、オリジナリティに富んだ企画開発を着々と進めてまいります。

本業回帰をしっかりと見据えながら、最先端の技術を駆使して挑戦する株式会社暁印刷のこれからにご期待ください。

SAISEI PROJECT INC



SAISEI PROJECT INC.
VIA GROUP

株式会社 再生プロジェクト

代表取締役社長 尾曲辰朗

ヴィア・グループを元気に!

株式会社再生プロジェクトは、グループ各社の不振店を再生し、「ヴィア・グループを元気にする」ことを目的とし、2009年4月に発足いたしました。

我々の目指す店舗再生とは、一般的なコスト削減を重視したものではなく、コンセプトメイク(コンセプトを強くし、お客様が喜び、お客様が増えていくような政策を、企画・実施していくこと)による再生です。近年の急激な社会環境の変化に伴い、お客様の意識・行動は大きく変わり続け、各業態において、お客様のニーズとのギャップが開きつつ

あります。そのズレを埋めるべく、店舗の改装やメニューの見直しから、人材教育・サービスなどすべてを再生してまいります。

案件ごとに、グループ各社と横断的なタスクチームを結成しながら、グループ各社の持つノウハウを共有化し、組織を活性化させることが、店舗再生の成否のカギになります。また、再生プロジェクトが、店舗再生を実践し、そのノウハウを蓄積することによって、将来のヴィア・グループのM&A戦略を、よりダイナミックで、よりスピーディーなものにできるよう、日々精進を重ねてまいります。

7.九州・中国・四国

34 店舗

- 岡山県 備長扇屋(3) 日本橋横丁(1) 合計(4)
- 広島県 備長扇屋(3) 北の家族(1) 本陣串や(1) 合計(5)
- 山口県 備長扇屋(1) 合計(1)
- 徳島県 備長扇屋(5) 合計(5)
- 香川県 備長扇屋(8) 合計(8)
- 愛媛県 備長扇屋(4) 合計(4)
- 高知県 備長扇屋(2) 本陣串や(1) 合計(3)
- 福岡県 備長扇屋(2) 本陣串や(1) らーめん萬亭(1) 合計(4)

6.近畿

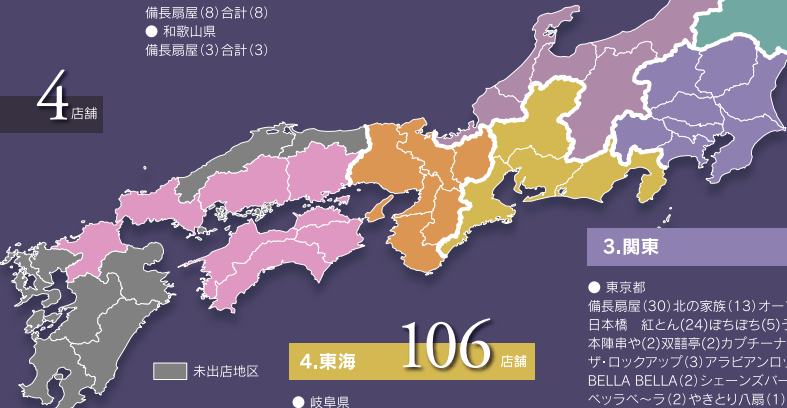
81 店舗

- 滋賀県 備長扇屋(4) 合計(4)
- 京都府 備長扇屋(3) オープン亭(1) 遊色RAKUZA(1) バスタモーレ(1) 合計(6)
- 大阪府 備長扇屋(29) 北の家族(9) オープン亭(1) 本陣串や(2) サ・ロックアップ(1) 手羽一郎(3) やきとり八扇(1) 合計(46)
- 兵庫県 備長扇屋(9) 北の家族(1) サ・ロックアップ(1) アラビアンロック(1) 遊色RAKUZA(1) イルバザール(1) 合計(14)
- 奈良県 備長扇屋(8) 合計(8)
- 和歌山県 備長扇屋(3) 合計(3)

8.海外

4 店舗

うおや一丁(4) 合計(4)



未出店地区

4.東海

106 店舗

● 岐阜県 備長扇屋(15) 合計(15)	
● 静岡県 備長扇屋(21) 双語亭(1) オープン亭(1) 合計(23)	
● 愛知県 備長扇屋(53) 北の家族(1) オープン亭(2) カブチーナ(1) らーめん萬亭(1) やきとり八扇(1) バドワイザーカーニバル(1) カフェ・ド・サントル(1) 合計(61)	
● 三重県 備長扇屋(6) オープン亭(1) 合計(7)	

2009年5月31日現在

3.関東

303 店舗

- 東京都 備長扇屋(30) 北の家族(13) オープン亭(4) 日本橋 紅とん(24) ぼちぼち(5) うおや一丁(8) 本陣串や(2) 双語亭(2) カブチーナ(1) いちげん(1) サ・ロックアップ(3) アラビアンロック(3) 手羽一郎(1) BELLA BELLA(2) シェーンズバーグ(2) ベッラベアラ(2) やきとり八扇(1) 遊色RAKUZA(1) 葛の波(2) ソウル大門ホルモン(2) ミステリアス(2) アジアドエクッション(1) オーシャングリルトウキョウ(1) 旬彩庵(1) 栗豚(1) ノリータ(1) バドワイザーカーニバル(1) ビバリー(1) マヤイマヤイ(1) 合計(119)
- 神奈川県 備長扇屋(18) 北の家族(1) オープン亭(4) 日本橋 紅とん(2) ぼちぼち(8) うおや一丁(4) カブチーナ(1) シェーンズバーグ(1) ベッラベアラ(1) バスタモーレ(1) 虎包(1) 合計(45)
- 山梨県 備長扇屋(3) オープン亭(1) 双語亭(1) 欧聞亭(1) 合計(6)
- 茨城県 備長扇屋(6) 双語亭(1) 合計(7)
- 栃木県 備長扇屋(5) 双語亭(1) 合計(6)
- 群馬県 備長扇屋(7) BELLA BELLA(1) 合計(8)
- 埼玉県 備長扇屋(21) 北の家族(3) オープン亭(5) ぼちぼち(6) うおや一丁(1) 双語亭(1) 一源(10) カブチーナ(2) いちげん(3) サ・ロックアップ(1) アラビアンロック(1) とりげん(4) BELLA BELLA(1) らーめん萬亭(1) ベッラベアラ(1) イルバザール(1) 欧聞亭(1) 魚々菜(2) 韓国ハッピーズアース(1) 串げん(1) China Fan(1) れとろ亭(1) 合計(69)
- 千葉県 備長扇屋(17) 北の家族(2) オープン亭(4) ぼちぼち(4) うおや一丁(1) 本陣串や(3) 双語亭(2) 一源(3) カブチーナ(1) いちげん(2) 八宝家(1) カフェオアニ(1) 四季菜々(1) トレドの森(1) 合計(43)

1.北海道

11 店舗

- 北海道 備長扇屋(1) うおや一丁(4) 本陣串や(6) 合計(11)

2.東北

28 店舗

- 青森県 オープン亭(1) 合計(1)
- 岩手県 双喜喜亭(1) カブチーナ(1) 合計(2)
- 宮城県 備長扇屋(5) 北の家族(2) うおや一丁(2) 双語亭(2) 手羽一郎(1) 八宝家(1) 合計(13)
- 秋田県 オープン亭(1) 合計(1)
- 山形県 備長扇屋(1) オープン亭(1) 合計(2)
- 福島県 備長扇屋(7) 双語亭(1) らーめん萬亭(1) 合計(9)

※1 投資と資本の消去に伴う連結上の、のれんは10年、事業譲受に伴うのれんは、5年で償却しております。

※2 ストックオプションの付与により計上されております。

※3 ㈱NBKの資本のうち、当社以外の出資分(優先株式)であります。

連結貸借対照表

単位:百万円

資産の部		
科 目	前期末 2008年3月31日	当期末 2009年3月31日
流動資産	5,843	4,654
現金及び預金	1,691	1,265
受取手形及び売掛金	2,438	2,117
有価証券	27	23
たな卸資産	577	334
繰延税金資産	183	265
その他	959	848
貸倒引当金	△35	△199
固定資産	25,646	26,126
有形固定資産	15,150	15,396
建物・構築物	10,723	10,735
機械装置・運搬具	598	657
工具器具備品	1,313	1,105
リース資産	－	277
土地	2,419	2,569
建設仮勘定	95	51
無形固定資産	3,980	3,560
のれん ※1	3,157	2,783
その他	823	777
投資その他の資産	6,514	7,168
投資有価証券	262	495
長期貸付金	14	561
敷金・保証金	4,952	4,817
繰延税金資産	1,116	1,169
その他	213	168
貸倒引当金	△45	△43
繰延資産	5	2
資産合計	31,495	30,783

負債の部		
科 目	前期末 2008年3月31日	当期末 2009年3月31日
流動負債	13,671	13,019
支払手形及び買掛金	3,367	2,836
短期借入金	7,079	7,225
未払金	1,313	690
未払費用	1,076	882
未払法人税等	105	205
賞与引当金	245	304
その他	482	875
固定負債	10,881	9,927
社債	100	60
長期借入金	10,299	8,512
その他	482	1,355
負債合計	24,552	22,947

純資産の部		
科 目	前期末 2008年3月31日	当期末 2009年3月31日
株主資本	5,061	5,430
資本金	2,738	2,739
資本剰余金	3,441	2,742
利益剰余金	△1,116	△48
自己株式	△1	△1
評価・換算差額等	△60	△77
その他有価証券評価差額金	△60	△77
新株予約権 ※2	41	83
少数株主持分 ※3	1,900	2,400
純資産合計	6,943	7,836
負債純資産合計	31,495	30,783

連結損益計算書

単位:百万円

科 目	前期末 2008年3月31日	当期末 2009年3月31日
売上高	35,606	44,346
売上原価	15,606	16,714
売上総利益	19,999	27,632
販売費及び一般管理費	19,588	26,529
営業利益	411	1,102
営業外収益	237	380
営業外費用	378	404
経常利益	269	1,078
特別利益	14	194
特別損失	1,685	530
税金等調整前当期純利益(△損失)	△1,401	741
法人税、住民税及び事業税	162	375
法人税等調整額	△98	△122
当期純利益(△損失)	△1,465	488

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科 目	前期末 2008年3月31日	当期末 2009年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	715	3,890
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,313	△ 3,055
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,121	△ 1,261
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	0
現金及び現金同等物の増減額(△減)	522	△ 426
現金及び現金同等物の期首残高	1,169	1,691
現金及び現金同等物の期末残高	1,691	1,265

連結株主資本等変動計算書

2008年4月1日～2009年3月31日 単位:百万円

科 目	株主資本					評価・換算差額等	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
2008年3月31日 残高	2,738	3,441	△1,116	△1	5,061	△60	41	1,900	6,943
当期変動額									
新株の発行	0	0			1				1
剰余金(その他資本剰余金)の配当		△121			△121				△121
欠損補填		△578	578						
当期純利益			488		488				488
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の当期変動額						△16	41	500	524
当期変動額合計	0	△699	1,067	△0	368	△16	41	500	893
2009年3月31日 残高	2,739	2,742	△48	△1	5,430	△77	83	2,400	7,836

単体貸借対照表
 単位:百万円

※1 当期における変動は、㈱一源の株式追加取得と㈱NBKの増資引受による増加392百万円、㈱暁印刷の株式評価損による減少538百万円であります。

※2 ストックオプションの付与により計上されております。

資産の部		
科 目	前期末 2008年3月31日	当期末 2009年3月31日
流動資産	710	1,177
現金及び預金	311	464
売掛金	50	78
有価証券	27	23
前払費用	8	12
未収入金	245	491
立替金	20	35
繰延税金資産	31	31
その他	5	40
固定資産	15,401	15,806
有形固定資産	2,362	2,324
建物・構築物	892	848
工具器具備品	16	14
土地	1,448	1,448
建設仮勘定	5	12
無形固定資産	469	479
商標権	45	137
ソフトウェア	390	305
その他	34	36
投資その他の資産	12,568	13,001
投資有価証券	217	458
関係会社株式 ※1	3,979	3,833
敷金・保証金	95	95
関係会社長貸付金	7,346	7,570
繰延税金資産	843	991
その他	111	77
貸倒引当金	△26	△26
資産合計	16,102	16,983

負債の部		
科 目	前期末 2008年3月31日	当期末 2009年3月31日
流動負債	4,280	5,086
短期借入金	1,800	1,753
1年内返済予定の長期借入金	2,224	2,981
未払金	138	160
未払法人税等	10	6
未払費用	95	51
賞与引当金	2	5
その他	10	127
固定負債	6,223	6,223
長期借入金	6,190	5,813
その他	33	410
負債合計	10,503	11,309

純資産の部		
科 目	前期末 2008年3月31日	当期末 2009年3月31日
株主資本	5,599	5,643
資本金	2,738	2,739
資本剰余金	3,441	2,742
利益剰余金	△578	163
自己株式	△1	△1
評価・換算差額等	△42	△52
新株予約権 ※2	41	83
純資産合計	5,598	5,673
負債純資産合計	16,102	16,983

単体損益計算書
 単位:百万円

科 目	前期末 2008年3月31日	当期末 2009年3月31日
売上高	887	1,139
売上原価	-	-
売上総利益	887	1,139
販売費及び一般管理費	788	845
営業利益	98	293
営業外収益	179	241
営業外費用	169	229
経常利益	108	305
特別利益	2	28
特別損失	1,074	548
税引前当期純利益(△損失)	△962	△213
法人税、住民税及び事業税	△59	△236
法人税等調整額	102	△141
当期純利益(△損失)	△1,005	163

単体株主資本等変動計算書
 2008年4月1日～2009年3月31日
 単位:百万円

科 目	株主資本					評価・換算差額等	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
2008年3月31日 残高	2,738	3,441	△578	△1	5,599	△42	41	5,598
当期変動額								
新株の発行	0	0			1			1
剰余金(その他資本剰余金)の配当		△121			△121			△121
欠損補填		△578	578					
当期純利益			163		163			163
自己株式の取得				△0	△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額						△10	41	30
当期変動額合計	0	△699	742	△0	44	△10	41	75
2009年3月31日 残高	2,739	2,742	163	△1	5,643	△52	83	5,673

株式の状況／会社概要

株式の状況

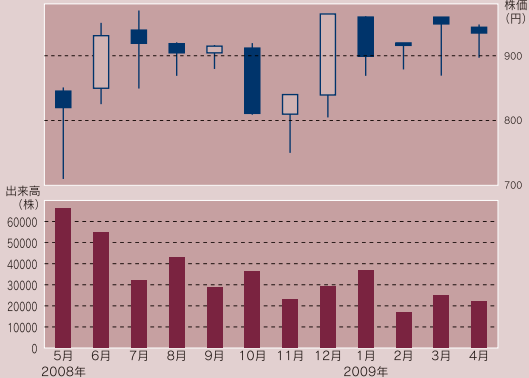
(2009年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	80,000,000株
発行済株式の総数	24,264,100株
株主数	628名
1単元の株式数	100株

大株主

株主名	持株数	出資比率
横川 紀夫	3,555千株	14.65%
アサヒビール株式会社	3,192千株	13.16%
株式会社エス・エイチ・コーポレーション	2,394千株	9.87%
株式会社J・M・T	2,078千株	8.56%
株式会社きわむ元気塾	1,879千株	7.75%
株式会社W&E	1,875千株	7.73%
株式会社エム・ティ・ケイ	1,520千株	6.26%
大関株式会社	615千株	2.53%
株式会社大光	610千株	2.51%
株式会社イフ	380千株	1.57%

株価および売買高の推移



株主メモ

事業年度
毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会
毎年6月開催

基準日
毎年3月末日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所
東京都中央区八重洲二丁目3番1号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先
〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先
☎0120-176-417

インターネットホームページURL
<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

【特別口座について】
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法
当社のホームページに掲載します。
<http://www.via-hd.co.jp/>

上場証券取引所
ジャスダック証券取引所

CORPORATE IDENTITY コーポレート アイデンティティ



シンボルマーク

人類の叡智の結晶「ピラミッド」をモチーフに、
「総合力」「結束力」「永遠性」「上昇」「大志」を表現しています。
またシンボルカラーの

「ブラック」は「宇宙＝秩序、創造」を、
「レッド」は「心＝情熱、思いやり」を、
「ブルー」は「水＝生命、知性」を象徴しています。

ネーミング

VIAとは、「Valuable & Imaginative Addition」の頭文字の略称です。直訳すると「価値の高い、創造力に富んだ付加」、言い換えれば「世の中により新しい価値を創造していく」という意味を表しています。
またVIAという言葉は、英語で「～経由で、～を媒介として」という意味を、ラテン語で「道」という意味を持ちます。
これらの意味を合わせて、VIAという社名に「私たち独自の力を通して、世の中により新しい価値を創造し、未来への道を切りひらいていく」という意志を込めています。

GROUP PHILOSOPHY (グループ理念)

心が響き合う価値の創造

◆私たちは、卓越した先見力とマネジメント力により、グループ企業の専門力を相互に高め、ノウハウを統合し、革新的なライフカルチャーの創造を推進します。
◆私たちは、顧客の「心のニーズ」に応え、喜びと感動に満ちた新しい価値のイノベーションに果敢に取り組めます。
◆私たちは、創造力・自立心・情熱を中心とした「人間力」を最も大切な資産と位置づけ、その力が最大限に成長・発揮できる環境をつくります。

GROUP MISSION (グループミッション)

◆私たちは、顧客満足の最大化を第一の目的とします。
◆私たちは、オープンで公正な企業カルチャーの構築を通して、社員の生きがいや幸せの実現に努めます。
◆私たちは、取引先と公平で健全な関係を築き、お互いの大いなる成長を目指します。
◆私たちは、偽りのない情報の公開や安心・安全の確保、環境保護への配慮など、確固とした企業倫理を確立し、社会の一員としての責務を果たします。
◆私たちは、株主に対する利益還元の増大と、株価の維持・上昇に努めます。

会社概要 (2009年3月31日現在)

商 号	株式会社ヴィア・ホールディングス VIA HOLDINGS INC.
所 在 地	〒112-0014 東京都文京区関口1-43-5 新目白ビル4F TEL.03-5155-6801
代 表 者	横川紀夫 大場典彦
設 立	1948年2月26日
資 本 金	27.3億円
従業員数	18名

役 員 (2009年3月31日現在)

代表取締役会長兼社長	横川紀夫
取締役副会長	三甲野隆優
代表取締役専務	大場典彦
取 締 役	高田弘明
常勤監査役	正部一行
監 査 役	河村博旨
監 査 役	岩村誠之

※4月1日付にて下記のとおり就任しております。
代表取締役会長 横川紀夫
代表取締役社長 大場典彦

当社グループの従業員数

事業の種類	従業員数
外食事業	888名 (3,246名)
印刷・流通事業	104名 (45名)
その他	18名 (0名)
合計	1,010名 (3,291名)

※従業員数には、使用人兼務取締役は含まれておりません。
※従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は1日8時間換算による年間の平均人員を()外数で記載しております。

<http://www.via-hd.co.jp>

ホームページではこの事業報告書のほか、ヴィアグループに関する最新情報をリアルタイムで公開しております。ぜひご覧ください。

株式会社 **ヴィア・ホールディングス**

〒112-0014 東京都文京区関口1-43-5 新目白ビル4F

TEL.03-5155-6801